

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
333	静岡の文学	2	3	総合学科	系列選択H

履修条件、選択上の留意事項等
特になし。

科目の目標
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
② 思考・判断・表現	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
評価の方法	
学習内容に関心を持ち授業での自身の考えをまとめ発表する意欲、課題を見つけ解決に向けて取り組む態度等を多面的に評価する。 課題の達成状況により、知識・技術の習得状況や思考・判断・表現力について評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	富士山を題材として 探究活動の方法を学 ぶ	富士山の文学（上代）	文化的な観点から富士山の存在を捉え直し、関心を持とうとしている。			○
			富士山信仰と古代文学や文化の関わりについて理解している	○		
富士山の文学（中古）		中古の物語文学に描かれた富士山像を理解している。	○			
		上代文学とは異なる中古文学における富士山の描かれ方の特色について考えている		○		
5		富士山の文学（中世）	中世の動乱期において、富士山がどのような存在として捉えられていたのか、理解している。	○		
			中世の独自性について、上代文学や中古文学と比較させながら考察している。		○	
6		富士山の文学（近世）	近世の紀行文における富士山のイメージを文章に即して理解している。	○		
			「富士山」が詠み込まれた俳句について、その情景や特徴を説明することができる。		○	
6		古典に描かれた「富士山」（まとめ）	これまでの学習を踏まえて、古典作品に登場する富士山像の変化を捉えたうえで、その奥深さや幅広さを味わい、関心を持つことができている。			○
		富士山の文学（近代）	近代日本文学における富士山の描かれ方を著名な文学作品を読解することで、理解ができている。	○		
			近代日本文学における富士山の位置を古典文学と比較・対照させたうえで、その特色を自分の言葉で説明できている。		○	
7	探究活動の実践①	フィールドワーク (大仁・修善寺)	大仁・修善寺と文学との関係性について理解している。	○		
			文学作品と郷土との関わりについて、フィールドワークを通して、探究している。		○	
			地元の文学碑や文学者について関心を高めている。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点			
				①	②	③	
9	地域文学を活用した 探究活動～文学者と 私たちの町～	井上靖と伊豆	井上靖と伊豆との関わりを理解している。	○			
10			井上靖の生涯を知ることを通して、井上靖文学と伊豆との接点や文学性について考察することができる。		○		
			伊豆となじみの深い井上靖に関心を持ち、その作品世界に触れようとしている。			○	
11		太宰治と三島	太宰治と三島との関わりを理解している。	○			
			太宰治の三島滞在時代を作品とともに学び、太宰文学におけるその意味を考察している。		○		
			文豪として知られる太宰治と三島との接点に触れることで、文学への関心を高めている。			○	
		まとめ	これまでの「井上靖と伊豆」および「太宰治と三島」の学習を通して、文学と場所（土地）についての考えを自分の言葉でまとめることができている。		○		
12		探究活動の実践②	フィールドワーク (三島・伊豆)	フィールドワークを通して、これまでに学んだ井上靖や太宰治に関する理解を深めている。		○	
				文学者や文学作品とゆかりのある場所をフィールドワークで実際に訪れることで、地域や郷土への誇りを持つことができている。			○
1		探究活動の総括	地元の文学を学ぶ意味	これまでの学習で学んだことを盛り込んで、発表資料を作成することができている。	○		
	地元の文学を学ぶ意味について、多方面から考察することができている。				○		
2	自分の考えをパワーポイントで適切に表現することができている。				○		
	地元の文学を学ぶ意味について考えることで、関心や誇りを持つことができている。					○	

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
228 334	静岡の歴史	2	2 3	総合学科・工業科 総合学科	自由選択 系列選択H

履修条件、選択上の留意事項等
2年次自由選択で履修したものは3年次履修不可

科目の目標
(1)静岡県や自分たちが生活している身近な地域を歴史的な見方・考え方により、課題を追求したり解決したりする活動を通じて、広い視野から歴史を身近なものとしてとらえるとともに、地域から日本、ひいては世界全体を考えるグローバルな視点を養う。 (2)静岡県の歴史の変化に関わる諸事象について、周辺地域や環境を相互的に捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技術を身に付ける。 (3)静岡県の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、相互の関連、現代とのつながりに着目し、多面的に考察し、歴史上の課題を視野に入れて構想する力、構想したことを効果的に説明し、それを基に議論する力を養う。 (4)静岡県の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を意識して課題を主体的に追求し解決する態度を養うとともに、多面的な考察や深い理解によって養われる静岡県民としての自覚を持ち、静岡県の歴史に対する理解や文化を尊重することの大切さを学ぶ。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	静岡県と日本全体の関わりを把握し、静岡の歴史を理解する。
② 思考・判断・表現	地域の成り立ちを理解し、果たすべき役割や問題を自ら考え、よりよい解決の方法を考察する。 調べたこと、感じたことをまとめ、表現する。
③ 主体的に学習に取り組む態度	静岡の歴史に興味や関心を持ち、静岡に対する愛情を深める。
評価の方法	
レポートと発表、小テスト	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	オリエンテーション 静岡の現状	資料に学ぶ静岡県の歴史	学習内容の確認。 静岡の現状について理解する。	○		
5	鎌倉幕府の成立と 執権政治の確立		源頼朝・北条氏と伊豆の関わりを中心に、歴史を概観する。	○		
6						
7	静岡県の災害の歴史と 富士山の噴火の歴史		静岡県で発生した災害と富士山の形成や噴火の歴史について学ぶ。		○	
8						
9	静岡県の産業の歴史		静岡県で盛んな産業を知り、その歴史を学ぶ。		○	○
10	静岡県の都市の歴史		静岡県の都市の成立や歴史的建造物や伝統行事を学ぶ。		○	○
11	私の住む町		自分の住む町の歴史を学び、魅力を発信する。		○	○
12						
1	静岡県に ゆかりのある人物 1年間の振り返り			静岡県にゆかりのある人物を取り上げ、学習する。	○	
2						

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
335	数学ⅠⅡ演習	2	3	総合学科	系列選択H

履修条件、選択上の留意事項等
数学Ⅱ・数学B・数学Cを履修済み、または並行履修していること

科目の目標
(1)数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Cの内容について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、基礎を確実に定着し、大学入試基本レベルまでの問題が解ける力を身につける。
(2)問題演習をすることによって、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。また、グループワークを通じて他者の思考を理解し、自身の思考を深め、他者に的確に伝える能力を育成する。
(3)解答する場面において、説明を含む答案を作成できる能力を育成する。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	各単元における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につける。
② 思考・判断・表現	各単元において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決すると同時に 事象を数学的にとらえて論理的に表現する力をつける。
③ 主体的に学習に取り組む態度	各単元の考え方に関心を持ち、それらを事象の考察に活用しようとしていくことができる。
評価の方法	
定期考査及び授業における取り組みを総合的に評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	数と式	式の展開, 因数分解	簡単な展開や因数分解ができる。	○		
			複雑な展開や因数分解に対して、今までの知識をもとに工夫をして取り組むことができる。		○	○
	集合と命題	根号を含む式の計算	根号などの意味を理解し、複雑な計算ができる。		○	
		集合	集合の基本的な概念・記号を理解する。	○		
5	2次関数	命題の真偽	命題の真偽を考察できる。		○	
		2次関数のグラフ	2次関数のグラフの基本的な性質を理解できる。	○		
	図形と計量	2次関数の最大・最小	関数とグラフの関係性を用い最大最小を求めることができる。		○	○
		2次方程式・不等式	様々な問題を関数のグラフを用いて解こうとする。			○
6	データの分析	三角比の相互関係	三角比の基本的な性質を理解できる。	○		
		正弦定理・余弦定理	三角比を用いて様々な問題を解くことができる		○	○
		データの代表値	データの代表値を知識として身に付け、意味を理解できる。	○		
		相関係数	代表値を用いてデータを分析し、考察することができる。		○	○
7	場合の数と確率	場合の数	様々な場合の数を工夫して数えることができる。		○	
		順列・組み合わせ	順列・組み合わせの考え方を理解している。	○		
		確率	様々な確率を、今までの知識を活かし求めようとする。			○
		図形の性質	三角形の外心内心重心	三角形の性質を理解できる。	○	
図形と方程式	チェバ・メネラウスの定理		様々な図形の性質を利用して、問題を解くことができる。		○	○
	10	三角関数	点と直線・円の方程式	図形と方程式の関係について基本的な知識が身についている。	○	
軌跡と領域			軌跡と領域について理解し、問題の解決に活用することができる。		○	○
指数関数と対数関数		三角関数	三角関数の基本を理解できる。	○		
		加法定理	加法定理を用いて実生活の長さを求めることができる。		○	○
12	微分法と積分法	指数の拡張, 指数関数	指数関数と対数関数の基本的な性質を理解できる。	○		
		対数とその性質, 対数関数	性質を用いて様々な問題を解くことができる。		○	○
		導関数と接線の方程式	導関数の基本的な性質を理解する。	○		
		関数の増減	導関数の性質を用いて関数のグラフを考察することができる。		○	○
1	ベクトル	不定積分, 定積分, 面積	積分法について基本的な性質を理解することができる。	○		
		定積分と微分法	微分法と積分法の性質を用いて、様々な問題を解くことができる。		○	○
	数列	ベクトルの基本	ベクトルの基本的な性質について理解できる。	○		
		内積	ベクトルの性質を用いてベクトルの計算をすることができる。		○	
2		座標空間における図形	ベクトルを用いて図形について考察することができる。			○
		色々な数列	基本的な数列の性質を理解することができる。	○		
		漸化式	漸化式を用いる数列など、複雑な数列について考察できる。		○	○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
336	発展物理基礎	2	3	総合学科	系列選択H

履修条件、選択上の留意事項等

3年次系列選択で「物理」を選択すること。

科目の目標

物理的事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けようとする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	日常生活や社会と関連付けながら、物理の各単元の内容を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	物理の各単元の内容について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	物理の各単元の内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

評価の方法

小テスト、定期テストへの取り組み状況 ワークシートや振り返りシート、課題レポート、その他提出物の記述の点検、確認、分析
実験とその考察、プレゼンテーションの取組状況の確認、分析 演習への取組やグループワークへの取組状況の観察、確認、分析

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	力学	さまざまな運動	物体のさまざまな運動についての観察、実験などを通して、放物運動、剛体のつり合う条件、運動量の保存、力学的エネルギー、円運動、単振動、万有引力について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			物体の運動について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。		○	
			物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
7	熱と気体	気体分子の運動	気体分子の運動についての観察、実験などを通して、気体分子の運動と圧力、気体の内部エネルギー、気体の状態変化について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			気体分子の運動について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現しているなど科学的に探究している。		○	
			気体分子の運動に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
9	波動	波の伝わり方	水面波、音や光などの波動現象についての観察、実験などを通して、波の伝わり方とその表し方、波の干渉と回折について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			水面波、音や光などの波動現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。		○	
			水面波、音や光などの波動現象に関する事物・現象に主体的に関わり見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。			○
	音	音	音についての観察、実験などを通して、音の干渉と回折、音のドップラー効果について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			音について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。		○	
			音に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
10		光	光についての観察、実験などを通して、光の伝わり方、光の回折と干渉について理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			光について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現したり、科学的に探究している。		○	
			光に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
	電磁気	電場と電位	電気と電流についての観察、実験などを通して、電荷と電界、電界と電位、電気容量について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			電気と電流について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現したり、科学的に探究している。		○	
			電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
		電流	電気と電流についての観察、実験などを通して電気回路について理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			電気と電流について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現しているなど科学的に探究している。		○	
			電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
		電流と磁場	電流と磁界についての観察、実験などを通して、電流による磁界、電流が磁界から受ける力について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			電流と磁界について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現したり、科学的に探究している。		○	
			電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
		電磁誘導と電磁波	電流と磁界についての観察、実験などを通して電磁誘導、電磁波について理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			電流と磁界について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現したり、科学的に探究している。		○	
			電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
11	原子	電子と光	電子と光についての観察、実験などを通して、電子、粒子性と波動性について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			電子と光について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現したり、科学的に探究している。		○	
			電子と光に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
		原子と原子核	原子と原子核についての観察、実験などを通して、原子とスペクトル、原子核、素粒子について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○		
			原子と原子核について問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い科学的に考察し表現したり、科学的に探究している。		○	
			原子と原子核に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○
	物理学が築く未来		物理学の発展と成果が科学技術の基盤をつくり、それらが様々な分野において応用され、未来の社会の形成、未知の世界の探究に大きな役割を果たしていることを理解する。	○		
			物理学の発展と成果が様々な分野において応用され、主体的に、これまでの学習を振り返ったり、調べようとしていたりしている。			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
337	生物基礎演習	2	3	総合学科	系列選択H

履修条件、選択上の留意事項等

総合学科で2年次に「生物基礎」を履修した者が履修できる。 2年次の生物基礎で使用した教科書および副教材を使用する。
四年制大学や看護学校等への進学を希望し、入学試験や進学後に生物基礎の知識を必要とする者を対象とする。

科目の目標

基礎的、応用的な問題演習をとおして、下記の「生物基礎の目標」や内容に示された能力と態度を醸成する。
「生物基礎の目標」
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
② 思考・判断・表現	生物や生物現象の事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 観察、実験などの基本操作を習得し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会と関連を図りながら生物や生物現象について関心を持っている。

評価の方法

記述の点検、確認、分析
行動の観察、確認、分析
(定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取組状況、授業への取組状況 等)

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	生物の特徴	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	生物の多様性と共通性、細胞の構造、エネルギーと代謝、呼吸と光合成について、問題演習をとおして基本的な知識を理解している。	○		
			生物の多様性と共通性、細胞の構造、エネルギーと代謝、呼吸と光合成について、問題演習をとおして探究し、その特徴や要点を表現できている。		○	
5			日常生活との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
6	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	物質としてのDNAの構造と特徴、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係、細胞分裂と遺伝情報の関連について、問題演習をとおして基本的な知識を理解している。	○		
			物質としてのDNAの構造と特徴、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係、細胞分裂と遺伝情報の関連について、問題演習をとおして探究し、その特徴や要点を表現できている。		○	
			日常生活との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
7	ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	自律神経系と内分泌系の特徴と役割および協働、体液の特徴と役割、免疫の防御機構、免疫に関わる細胞とそれらのつながりについて、問題演習をとおして基本的な知識を理解している。	○		
			自律神経系と内分泌系の特徴と役割および協働、体液の特徴と役割、免疫の防御機構、免疫に関わる細胞とそれらのつながりについて、問題演習をとおして探究し、その特徴や要点を表現できている。		○	
			日常生活との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9 10	生物の多様性と生態系	植生と遷移 植生の分布とバイオーム 植生の分布とバイオーム	植生の種類と構造、植生の遷移の要因、世界や日本に分布するバイオームについて、問題演習をとおして基本的な知識を理解している。	○		
			植生の種類と構造、植生の遷移の要因、世界や日本に分布するバイオームについて、問題演習をとおして探究し、その特徴や要点を表現できている。		○	
			日常生活との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
		生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	生物の種多様性と生物間の関係性、生態系のバランス、生態系の保全の重要性について、問題演習をとおして基本的な知識を理解している。	○		
			生物の種多様性と生物間の関係性、生態系のバランス、生態系の保全の重要性について、問題演習をとおして探究し、その特徴や要点を表現できている。		○	
			日常生活との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
11 12	大学共通テストへの 対策演習		生物基礎の各単元について、問題演習をとおして基本的な知識を理解している。	○		
			生物基礎の各単元について、問題演習をとおして探究し、その特徴や要点を表現できている。		○	
			日常生活との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
1 2	論述問題への対策演習		論述問題演習をとおして、論理的に解説するための本的な知識と手法を理解している。	○		
			論述問題演習をとおして探究し、解答や自分の考えを論理的に表現できている。		○	
			日常生活との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
338	ビジネス法規	2	3	総合学科	選択

履修条件、選択上の留意事項等
一般社会で生活するうえで欠かすことのできない法律について興味関心を持っていること

科目の目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 (2) 法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	法の意義や役割を理解するとともに、ビジネスを行う上での基本的・基礎的な法の知識を身につけている。
② 思考・判断・表現	ビジネスを行う上で、適切に法を理解・適用する、思考・判断・表現力を身につけている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスにおける法の役割を理解し、法の適用に照らした行動と主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価の方法	
法律の理解の確認 企業活動、企業責任と法規、税と法規の理解の確認 （授業への取り組み状況、定期テスト、小テスト、開発プログラムやその他提出物等への取組状況 等）	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	法の概要	法の概要	ビジネスにおける法の役割を理解し、社会規範を守ろうとしている 法の体系と解釈・適用を理解している 法治国家の意義を理解し積極的にかかわろうとしている	○	○	
		権利・義務と財産権	権利・義務とその主体について理解している 自然人の権利能力、行為能力、制限行為能力制度を理解している 物と物権・債権について理解している 財産権の種類を理解している	○	○	
5			物と物権・債権について理解している 財産権の種類を理解している 身の回りのものについて財産権の種類を考えようとしている	○		○
6	知的財産権と法規	権利・義務と財産権	知的財産権とその保護の必要性を理解しようとする 知的財産権の特徴と種類を判断できる 産業に関する知的財産権について興味を示している デザインやマークなどに関する知的財産権を表現できる 知的財産権の重要性と保護に取り組もうとしている	○	○	○
					○	○
7	企業活動と法規	財産権の変動	契約の分類を理解し判断しようとしている 各種物の売買の違いを理解している 各種物の貸借の違いを理解し生活にいかそうとしている 一般的な不法行為について理解しようとしている 民事法上の時効について理解し完成猶予・更新・援用などが判断できる	○	○	○
8				○	○	

[illegible]